

# 広 報 費

支払日	内 容	金 額 (円)	領収書No.
3/29	会派会報紙印刷代	967,086	1
	計	967,086 円	

合 計	967,086 円
-----	-----------

貼 付 欄

領 収 証

31 年 3 月 29 日

自由民主党 周南 様

金額	¥	9	6	7	0	8	6	-
----	---	---	---	---	---	---	---	---



但し 会報印刷代として

上記正に領収いたしました

**dac.**

株式会社 夕

代表取締役 檀

山口県周南市柳ヶ浜125

TEL 0834-33-8739 FAX

# 納品書

平成31年3月19日

自由民主党周南 御中



株式会社  
代表取締役  
〒745-0805 山口県周南市櫛ヶ浜125番地  
TEL:0834-33-8739 FAX:0834-33-8669

下記の通り納品致します

合計  
金額 **¥967,086 -**

品名	数量	単位	単価	金額
1)会報 制作・印刷代 A4×6ページ 3つ折り	28,000	枚	24.50	686,000
2)会報 新聞折込料 3/21朝刊 須々万・須金・長穂・鹿野・和田 配送料	2,260 1	枚 式	7.50	16,950 5,000
3)会報 ほっぶ折込料 3/22号 富田・徳山中央部・遠石・周南東部 周南団地・桜木・城ヶ丘・久米	25,000	枚	7.50	187,500
小 計				¥895,450
消費 税(8%)				¥71,636
合 計				¥967,086



徳山駅賑わい交流施設&徳山駅前図書館



解体が始まった  
新南陽総合支所



公共再配置計画中の  
鹿野総合支所

はじめに

2019年春、今年も多くの若者が新しい道へ踏み出します。「初心、忘るな!」とエールをおくりたいですね。これは、新鮮な気持ちを失うことなく、迷ったら初心を思い出すようにと教えるのですが、若者だけではなく、どの年代にも当てはまります。心したいものです。

進む徳山中心市街地の活性化事業を注視

さて、「周南市」誕生から15年余、これまでを振り返るとき「新市建設計画」にあげた「リーディングプロジェクト事業」が今年3月で一応の区切りをみます。たしかに周南市の姿が変わってきました。とりわけ中心市街地活性化事業による徳山駅周辺整備は、南北自由通路整備を皮切りに、昨年2月にオープンした徳山駅ビルの「徳山駅前賑わい交流施設&図書館」の賑わいと併せ、工事中の駅前北広場の整備が中心商店街活性化への誘導策として大きな弾みになるでしょう。そして現在、地元関係者によって再開発事業に向けた具体的な取り組みが進んでいます。市も担当部署を設置し事業実現にむけて積極的な支援をしています。着実に実現するよう重大な関心を持って発言をしていきます。

人口減少、少子高齢化に期待 —  
「コンパクト・プラス・ネットワーク事業」

ところで「東京圏へ一極集中拡大!」大きくマスコミは報じています。平成30年中に地方から東京圏に移動した転入超過者は13.9万人、これが23年連続、全国市町村の72.1%が転出超過だということです。10年後、20

年後の将来に向けて現実を見据えた人口問題(少子高齢化、人口減少)に関わる諸施策をどう進めるのか、国も地方も避けられない構造的な課題になっています。

本市も確実に人口減少、少子高齢化社会、市街地の拡散、車社会といった都市的課題の解決が求められています。その対応策として現在「コンパクト・プラス・ネットワーク事業」に取り組んでいます。これは拡大した市街地を公共交通によって連携し、生活の利便性、生産性、創造性などを高めた生活空間をコンパクトにまとめていこうとするものです。

多様な地域づくりが着実に進むよう行動していきます。

公共施設再配置計画への取り組み

もう一つは「公共施設再配置計画」の取り組みです。合併による増えた公共施設の老朽化に伴うコスト増は避けられません。当然、財源不足による必要不可欠な市民サービスの提供さえも危ぶまれることとなります。多くの市民サービスを持続的に提供するために、何よりも公平性を前提とした施設の必要量確保と、適正な受益者負担確保による再配置計画を進めることが大切です。ここは市民一人一人が、大局に立って将来の財政負担をどう軽減していけるか、責任が問われます。

周南市の行政課題は多岐にわたります。当然のことですが私たち「自由民主党周南」会派も様々な課題に立ち向かい先送り論に与せず果敢に取り組んでいきます。

## 議員として斯くありたい

言うまでもなく私たちは、戦後の民主主義社会に生きています。

主権者は「市民」です。主権者であるためには「個」の確立が求められますから、間違っても風評や甘言、妄言に惑わされることなく、自らの主権は自らが行使することで民主主義社会を守ることとなります。ここは自分の「耳で聞き」「目で見て」「頭で考え」「口で言う」ことが求められます。

一方議員の役割は、効果的に行われるように、また「市長」の権限や責務の行使につい

ても是々非々を貫き、これをチェックする立場にあります。

すなわち議員も市長も最終目標を共有しつつも、分権により異なる立場から市政の健全な遂行発展に尽くすことです。そこに共通して求められるのは「ノブレス・オブリージュ（果たすべき社会的責任と義務）」だと信じます。そのためにもいたずらな大衆迎合を排し、「市民本位の周南市政実現」という志を胸に、「瓜田に履を納れず、李下に冠を正さず」全国にその名がとどろく「周南市」創生のため着実な歩みを続けたいと心新たにしています。



▲解体工事がはじまった新南陽総合支所

かねしげはじめ

〒746-0022 周南市野村3丁目1番1号

兼重元 議員 TEL 0834-63-3046 FAX 0834-64-2468

議会運営委員会、企画総務委員会、予算決算委員会、公共施設再配置及び新庁舎建設に関する特別委員会

## 近況レポート

### “児玉文庫メモリアル”中央図書館に愛称！

平成29年市議会一般質問で、シティプロモーションの有効な手段として中央図書館に“児玉文庫メモリアル”と愛称を付し、児玉源太郎の偉業を顕彰したらいかかと提案をしておりましたが、このほど提案通り愛称を付すことが決定しました。

去る2月25日、中央図書館前で多くの方々のご出席のもと銘板除幕式が盛大に執り行われました。

児玉文庫は、明治36年中央図書館そばにあった児玉源太郎生家跡に児玉源太郎が郷土のためにと私財を投じ開設した私設図書館であります。ひとえにふる里の後進育成を願ったものであり、図書の提供のみならず多くの方が情報を交換できる場でもあり、教育文化の向上に大きく貢献したことは広く知られております。

児玉文庫は戦災で焼失しましたが、復興を望む市民の声により、昭和23年開館の市立図書館へ、更に現在の中央図書館へとつながっております。

児玉源太郎は全国的にも知名度があり、その業績は高く評価されており、本市においては、平成28年6月「児玉源太郎顕彰会」が発足し、積極的に顕彰活動に取り組まれております。中央図書館のある岐山通りは、高校生をはじめ多くの人々の通行があり、“児玉文庫メモリアル”の愛称を目にするたび、子供から大人まで児玉源太郎の存在が意識されることとなります。

現在、中央図書館では児玉源太郎に関する書籍や直筆の書簡などさまざまな資料収集が行われており、これを契機に一層シビックプライドの醸成となることを願うものであります。



▲周南市中央図書館“児玉文庫メモリアル”銘板

### 須金は今

私の住む須金地区は、昭和29年頃には人口5千人を数えておりましたが、今や人口は350人、高齢化率62%と少子高齢化、過疎の典型的な地域となりました。

しかし、「人口の過疎はあっても心の過疎はない」という誇りを持ち、「わたらの地域はわたらで何とかしよう」というコミュニティが醸成され、危機感と地域愛で様々な課題に取り組んでいます。

昨年の7月豪雨や台風を経験し、自主防災組織も一段と濃密なものとなり、3名まで減少した小学校も移住の取り組みが功を奏し、今や15名の子どもたちの声に地域が元気づけられています。地域はそこに住む人間が自ら作り動かなければ良くなることはありません。

今後、中山間地域の環境が好転していくという可能性は低いかもしれませんが、須金地域は飽くなき挑戦を続けています。

“共に地域を支えよう”を合言葉に。



▲地域の皆さんと合同運動会

よねざわ ちたつ

米沢 痴達 議員 〒745-0401 周南市大字須万2612番地

TEL 0834-86-2054 FAX 0834-86-2014

議会運営委員会、環境建設委員会、予算決算委員会、中心市街地活性化対策特別委員会

周南市長 木村健一郎 様

平成30年11月19日

周南市議会  
自由民主党周南

平成31年度会派要望

下記の項目を要望いたします。宜しくご検討ご配慮をお願いいたします。

1. 徳山駅南開発と港湾施設整備について具体策を望む。  
1) 駅から沿岸へのラインをより親水性を持った整備  
2) 徳山港の開発
2. 中山間地域の振興策について  
都市部の市街地整備が進展する中で、中山間地域への波及効果を如何に展望するのか、特に生活交通網・農林水産業振興及びインフラ整備を望む。
3. 子育て支援策について  
医療費の無料化を中学3年生迄対象に、当面現行の所得制限を設けた制度拡大を望む。
4. 野犬対策の抜本的な取り組みを望む。
5. 公共施設再配置計画の円滑な推進について  
本市の将来に対する大局的見地に立った公平性の確保が求められる。十分な説明責任を果たし円滑な計画推進を望む。
6. 新南陽地域を副都心として位置付けるに相応する具体的な整備施策を望む。
7. 新南陽市民病院の診療体制及び僻地医療の確保のため、徳山中央病院との連携による周南市の医療サービス体制の将来構想の策定を望む。

以上

平成30年11月19日、行政に対して  
次の7項目を要望しました。

- ① 徳山駅南開発と港湾施設整備について具体策を望む。  
(1) 駅から沿岸へのラインをより親水性を持った整備  
(2) 徳山港の開発
- ② 中山間地域の振興策について  
都市部の市街地整備が進展する中で、中山間地域への波及効果を如何に展望するのか、特に生活交通網・農林水産業振興及びインフラ整備を望む。
- ③ 子育て支援策について  
医療費の無料化を中学3年生迄対象に、当面現行の所得制限を設けた制度拡大を望む。
- ④ 野犬対策の抜本的な取り組みを望む。
- ⑤ 公共施設再配置計画の円滑な推進について  
本市の将来に対する大局的見地に立った公平性の確保が求められる。十分な説明責任を果たし円滑な計画推進を望む。
- ⑥ 新南陽地域を副都心として位置付けるに相応する具体的な整備施策を望む。
- ⑦ 新南陽市民病院の診療体制及び僻地医療の確保のため、徳山中央病院との連携による周南市の医療サービス体制の将来構想の策定を望む。



▲新南陽市民病院

## 新しいまちの「顔」づくり

合併して15年が経過し、合併特例債を活用した大型投資によるまちづくりも終わりを告げました。地方自治体にとって昨今の経済環境の中では、限られた財源を最も効率的かつ波及効果の大きいところに投資する活性化策を講じなければ、現状維持すら難しい時代があります。

本市においても何もしなければ全体が衰退することは明らかであり、官民協働で自立する経済をめざし、地場産業や新産業の育成など地域の活性化に繋がる思い切った公共投資も必要であると考えます。

地域独自の特性や個性・文化などを手掛かりに、持続可能であり地域のアイデンティティを感じるような風土を活かしたまちづくりが重要であると考えます。



〈一般質問〉(平成30年12月定例会において)

### 野犬への抜本的対策をすべきでは

**問** 増え続ける野犬による事件が多発している。関係機関と連携を密に、抜本的な対策をすべきではないか

**答** 県環境保健所が実施する捕獲への協力、草刈りや竹やぶの伐採等、野犬がすみにくい環境づくり、餌やり禁止の直接指導、市広報やホームページ、看板、キャンペーン等による餌やり禁止の周知など、地域と一緒に野犬を減らす



▲周南市HPより

取り組みを進めている。野犬による咬傷(こうしょう)事件、車への危害等、市民からの苦情も多く、今後も関係部署や県環境保健所との密接な連携のもと、粘り強く対策を進める。

たむら ゆういち

田村 勇一 議員  
企画総務委員会

〒745-0807 周南市城ヶ丘4丁目8番23号

TEL 0834-28-3033 FAX 0834-28-3033

# あなたの地域にある身近な問題、周南市への提言… お聞かせください。私たちが対応いたします。

平成30年度は、議場にて以下の一般質問をさせていただきました。  
今後も様々な課題の解決に向けて、市政へと反映できるように努めてまいりたいと思っております。ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

〈一般質問〉(平成30年4月～12月までに開催された定例会において)

## 平成30年第2回定例会

### 屋内の子供向け遊び場について⇒

ポートレース徳山にて、また徳山駅前図書館において、子供の遊び場が開催されました。その後ポートレース徳山×徳山駅前図書館が、「地域活性子育て応援プロジェクト～あそぼ」と題して、家族で遊び、学び、ココロとカラダを育む「ポーネルド」の遊具を使った楽しい遊び場を、2月から毎週土・日曜に開催されています。このような取り組みが充実されることを期待しています。



▲子供の屋内あそび場の開催

### 終活の支援について⇒

終活についての市民への周知・啓発が大切であり、他市の終活事業を参考にしながら、関係部局で連携し研究してまいりたいという答弁でした。



▲みなとオアシス徳山  
登録証交付式

## 平成30年第3回定例会

災害から子供たちの命を守る取り組みについて⇒  
それぞれの地域に応じた各学校での防災教育の取組や地域の防災活動との連携など命を守る防災教育について答弁をいただきました。

### 児童・生徒の登下校時の携行品について⇒

携行品(ランドセルやかばん等)の軽減は、児童・生徒の体への負担や交通安全の面からも重要であること、また、県教育委員会や国の会議において問題提起したいと教育長から答弁をいただきました。

### 「みなとオアシス」の登録について⇒

平成30年10月28日に「みなとオアシス徳山」として登録されました。今後も「みなとを核としたまちづくり」を考えてまいりたいと思います。

## 平成30年第5回定例会

### 徳山港開港100年に向けて⇒

官民協働の開港100年記念事業プロジェクトチームが創設されることになりました。

### トイレに関する全体的な基本方針及び整備計画の策定について⇒

施設マネジメント課にてトイレに関する全体的な取りまとめが進められることとなりました。

### 色覚チョーク導入について⇒

市内小中学校の約半数で色覚チョークが導入され、児童・生徒から見えやすいという声が上がっていること、今後も校長会にて啓発していただくこと、またこのような取組や色覚検査について、学校保健だより等を通じて保護者の方々にも周知啓発していくという答弁をいただきました。

ふくだ りえこ

**福田 吏江子** 議員

〒745-0847 周南市松保町6番6号

TEL 0834-22-8502(議会事務局) FAX 0834-22-5670

教育福祉委員会、中心市街地活性化対策特別委員会、公共施設再配置及び新庁舎建設に関する特別委員会、民生委員推薦会委員

## 「ひと・まち・しごと創生」について — 坂本心次 12月議会定例会質問

12月議会定例会では、「ぬくもりのある地域」をテーマに「ひと・まち・しごと創生」について一般質問をしました。

昨年は、徳山駅前図書館や市役所新庁舎など、都市部の市街地整備が進み、あちこちマルシェなどのイベントとも相まって中心市街地も賑やかになってまいりました。

今年はその勢いが周辺地域へと拡がるよう願っており、この波及効果を生み出すため、努力・前進していく所存です。

※坂本心次議員は本年2月20日付で周南市議を辞職いたしました。



坂本心次

# 暮らしやすい周南。誇りがもてる周南。 周南市民のために一。私たちの使命です。



認知症サポーター養成講座



伊万里市民図書館視察



熊本市災害対応視察



新しくなった議場



新議場でのピアノコンサート



神戸港にてPC18視察



神戸港視察



烏栖市教科「日本語」視察



徳山下松港視察

## 〈平成31年度事業特記〉

1. 子供が生まれて中学生までの医療費が  
無料に(所得制限あり)！  
子育てするなら周南市 人口定住策が更に充実しました。
2. 徳山駅前地区市街地再開発事業は、  
2022年の竣工を目指し民間主導で動きが本格化！  
新徳山駅ビルと一体となり、中心市街地の賑わい創出に  
期待が大きくふくらみます。
3. 全国初の取り組み「緑山(須々万)バイオマス材生産モデル事業」に挑戦！  
林業とコンビナートの連携により、環境にやさしいまちづくりを目指し  
経済の好循環に取り組みます。



完成イメージ(H30.3月時点)  
提供:徳山駅前地区市街地  
再開発準備組合HPより





周南市は今、第2次まちづくり総合計画の思いが形となり、都市部においても中山間地域においても地域づくりの動きが顕著になってまいりました。

さらにこの動きを加速していかねばならない大切な時であります。継続こそ力なり。

私たち党派一同、市民の皆さまと共に、市政発展に全力投球していきます。

どんな意見でもお聞かせください。

**周南市議会 自由民主党周南**

田村 勇一 / 兼重 元 / 米沢 痴達 / 福田 史江子

周南市議会事務局 ☎0834-22-8503